

令和5年度版

青少年赤十字加盟校 担当者手引き



日本赤十字社埼玉県支部

はじめに

青少年赤十字活動の推進については、日頃、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

青少年赤十字は、いのちと健康を大切にし、地域や社会のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としています。「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を柱とする実践活動、「気づき、考え、実行する」態度の育成は、現在、各学校が取り組んでいる「生きる力」を養う上で大いに役立つものと考えております。

当支部は、青少年赤十字の推進をとおして、学習機会や指導資料の提供、人材派遣等、加盟校の教育活動を積極的に支援していきます。先生方のよきパートナーとして、青少年赤十字を一層ご活用いただければ幸いです。

令和5年4月

日本赤十字社埼玉県支部

目次

1	青少年赤十字加盟登録(新規・更新)事務手続き	・・・	P 1
2	青少年赤十字資材の請求・送付	・・・	P 2
3	学校における学習機会等の提供	・・・	P 3
(1)	健康安全プログラムについて	・・・	P 3
(2)	短期講習について	・・・	P 4
(3)	救命手当短時間プログラムについて	・・・	P 4
(4)	提供できる学習テーマ一覧	・・・	P 4
4	研修機会の提供	・・・	P 6
5	その他	・・・	P 6
(1)	募金活動の取り扱いについて	・・・	P 6
(2)	収集活動の取り扱いについて	・・・	P 7
(3)	国際活動への取り組みについて	・・・	P 7
6	事務連絡手続きについて(流れ)	・・・	P 8

お問い合わせ先： 日本赤十字社埼玉県支部
青少年・ボランティア課 青少年係
TEL：048-789-7108
FAX：048-834-1520
MAIL：seisyonen@saitama.jrc.or.jp


1 青少年赤十字加盟登録(新規・更新)事務手続き

年度当初にあたり、青少年赤十字加盟登録(新規・更新)の事務手続きをお願いします。
 新年度の初めに新たにメンバーになった児童・生徒を含めて、全メンバー、指導者の人数等、必要な情報をご提供いただくようお願いしております。

○登録更新申込票の記入について

- 「青少年赤十字加盟登録(新規・更新)申込票」(様式1)をご使用ください。
- 記入例を参照してください。
- 複写を学校控えとして保管してください。
- 更新の手続きは5月末日までをお願いします。

様式1 記入例

<記入例>  様式1

青少年赤十字加盟登録(新規・更新)申込票

申込日 令和 5年 4月 22日

公 印

該当するものを○で囲んでください。

学校名		さいたま市立日赤小学校																																																													
所在地	住 所	330-0064				メールアドレスは必ずご記入ください。																																																									
	住 所	さいたま市浦和区岸町3-17-1																																																													
	TEL	048-789-7108	FAX	048-834-1520																																																											
	MAIL	abcdefg@saitama.co.jp (※学校代表アドレスを記入)																																																													
学校長名	日赤 太郎		加盟した年																																																												
JRC主任指導者名	日赤 花子		昭和(平成・令和) 10年																																																												
活動形態 (○をつけてください)																																																															
<input checked="" type="checkbox"/> 全校 ・ 学年 ・ 学級 ・ 委員会 () <input type="checkbox"/> 部活動 () ・ 同好会 () ・ その他 ()																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年等</th> <th rowspan="2">学級数又はグループ数</th> <th colspan="3">加盟メンバー数</th> <th rowspan="2">当該指導者数</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>3</td> <td>44</td> <td>57</td> <td>101</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>5</td> <td>68</td> <td>76</td> <td>144</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>4</td> <td>73</td> <td>61</td> <td>134</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>4</td> <td>65</td> <td>72</td> <td>137</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>4</td> <td>85</td> <td>67</td> <td>152</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>4</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>129</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26</td> <td>410</td> <td>398</td> <td>808</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>							学年等	学級数又はグループ数	加盟メンバー数			当該指導者数	男	女	計	1年	3	44	57	101	3	2年	5	68	76	144	5	3年	4	73	61	134	4	4年	4	65	72	137	4	5年	4	85	67	152	4	6年	4	65	64	129	4	特別支援学級	2	10	1	11	2	合計	26	410	398	808	26
学年等	学級数又はグループ数	加盟メンバー数			当該指導者数																																																										
		男	女	計																																																											
1年	3	44	57	101	3																																																										
2年	5	68	76	144	5																																																										
3年	4	73	61	134	4																																																										
4年	4	65	72	137	4																																																										
5年	4	85	67	152	4																																																										
6年	4	65	64	129	4																																																										
特別支援学級	2	10	1	11	2																																																										
合計	26	410	398	808	26																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全校学級数</th> <th colspan="3">全校児童・生徒数</th> <th rowspan="2">全校教員数</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>410</td> <td>398</td> <td>808</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>							全校学級数	全校児童・生徒数			全校教員数	男	女	計	26	410	398	808	43																																												
全校学級数	全校児童・生徒数			全校教員数																																																											
	男	女	計																																																												
26	410	398	808	43																																																											
本校での主な活動 (複数回答: □へのチェック、カッコ内への記入をしてください)																																																															
<input type="checkbox"/> 清掃活動 <input checked="" type="checkbox"/> 募金 (種類: 1円玉募金) <input checked="" type="checkbox"/> 救急法 (児童生徒・教職員) <input checked="" type="checkbox"/> 収集活動 (種類: ヘルマーク) <input type="checkbox"/> 国際理解活動 (交流(学習)) <input type="checkbox"/> 地域交流 (対象: 老人福祉施設) <input type="checkbox"/> その他 ()																																																															
文化祭の日程(高校のみ): 年 月 日()・日()																																																															
通信欄																																																															
備 考																																																															
<input type="checkbox"/> 登録更新は、毎年度必要ですので、手続きをお願いします。 <input type="checkbox"/> 複写を学校控えとして保管してください。																																																															
※ 支部事務局受付使用欄 支部受付日 令和 年 月 日																																																															

分かる範囲で結構です。

貴校で行っている活動(複数回答)をご記入ください。

高等学校のみ文化祭の日程をご記入ください。支部職員が伺う場合もあります。

ご要望等ございましたら、ご記入ください。

2 青少年赤十字資材の請求・送付

新しく青少年赤十字の仲間として迎える児童・生徒に、そのメンバーである「証し」のメンバー章（バッジ）やメンバーズカード等を提供します。また、学級、グループ単位、委員会等で活用していただきたい資材（署名票や掲示物）を提供します。

○資材申込書の記入について

- － 「資材申込書」（様式 2）を、登録更新申込票（様式 1）と一緒に送付してください。
- － 記入例を参照してください。
- － 登録式等の都合でお急ぎの場合、FAXでの申込みも受け付けております。
（資材のお届けに 2 週間ほどかかりますのでご留意のうえお早めに申込みください）
- － 資材については、在庫が無くなり次第終了となります。

◆メンバー用

1	青少年赤十字バッジ	新メンバーに各 1 個	制服、胸、名札、帽子等につけます
2	青少年赤十字ワッペン	必要数(基準数 50 個/校)	活動時に左肩や左胸につけます
3	青少年赤十字メンバーズカード	登録するメンバーに各 1 枚	毎年度各自に配付します

※上記の 1 「青少年赤十字バッジ」、3 「青少年赤十字メンバーズカード」は指導者にも配付します。様式 2 に記入の際、指導者の数を加えてお申込ください。

◆学級またはグループ用

4	署名票	各 1 枚	学級やグループ毎に署名します
5	ちかい・肖像画	各 1 枚	教室等に掲示します
6	青少年赤十字マークシール	上限 3 枚	各種資料作成時にご活用ください
7	小冊子「赤十字の父アンリーデュナン」	上限 3 冊	指導資料としてご活用ください
8	小冊子「赤十字ってなあに？」	上限 3 冊	指導資料としてご活用ください

※グループ数（学級数等）をお申込みください。

◆指導者用

9	青少年赤十字指導者手引き	加盟校に各 1 冊
---	--------------	-----------

◆その他

以下資料は適宜、お届けいたします。

青少年赤十字指導情報(本社発行)	加盟校に各1部程度、年1回
青少年赤十字機関紙(本社発行)	加盟校に各1部程度、年1回
青少年赤十字フォトニュース(県支部発行)	加盟校に各1部程度、年1回
県指導者協議会会報(県支部発行)	加盟校に各1部程度、年1回

様式2記入例(様式1記入例数値参照)

No.	資材名	申込数
1	青少年赤十字バッジ	127
2	青少年赤十字ワッペン	40
3	青少年赤十字メンバーズカード	851
4	署名票	15
5	ちかい・肖像画	15
6	青少年赤十字マークシール	3
7	小冊子「赤十字の父 アンリ ー・デュナン」	3
8	小冊子「赤十字ってなあに？」	3
9	青少年赤十字指導者手引き	1

新規メンバー、転入、破損・紛失、新規指導者分を記入 (新メンバー101+26)

50個程度を上限に必要な数を記入
(委員会人数 40)

登録するメンバー数・指導者数を記入
全校加盟 (808+43)

学級数・グループ数を記入

ご希望の資材を登録式で使用される場合は、
ご記入ください (※受領希望日の2週間以上
上の余裕をもって、ご連絡ください)

通信欄			
登録式	令和	5年	4月26日
資材受領希望日	令和	5年	4月12日

3 学校における学習機会等の提供

総合的な学習の時間や教科学習、学級活動等において、赤十字のもつ各種プログラム内容を活用して学習機会の提供及び人材派遣をいたします。

(1)健康安全プログラムについて

生命を尊重し、健康で安全な生活を実現するために、赤十字のノウハウを活かして開発された体験プログラムです。先生方にご指導いただけるように簡易な内容で編集されています。

健康で安全な生活を送るために	食事・運動・休養と健康阻害、事故の種類と誘因 等
けがの予防と応急手当	止血法、三角巾を使った包帯法 等
心停止の予防と救命手当	心肺蘇生法、AEDの使い方 等
傷病者の運び方	運搬法と注意事項

○実施にあたって

- － 前ページを目安に、ご希望の内容で実施が可能です。詳細は「健康安全プログラム指導者用テキスト」にありますので、お問い合わせください。
- － 指導者の方々が直接児童・生徒へ指導することができる点がこのプログラムの特色ですが、講師派遣についても可能です。
- － 参加児童・生徒に、修了証を交付することもできます。(小学生・中学生のみ)

(2)短期講習について

日本赤十字社埼玉県支部では、救急法以外にも、「健康生活支援講習」、「避難生活支援講習」、「幼児安全法」等の講習を行っております。学校の授業で児童・生徒が学べるように、以下のとおり短期講習をご用意しております。詳細についてはお問い合わせください。

健康生活支援講習	車いすの取り扱い方と高齢者との接し方、高齢者疑似体験
避難生活支援講習	避難所で生活する高齢者・乳幼児に対してできること
幼児安全法講習	未就学児の事故予防と応急手当・救命手当
水上安全法講習	着衣泳体験、自分自身を守るための浮具の使い方

※ 新型コロナウイルス感染症による感染状況により、一部内容が制限される場合があります。

(3)救命手当短時間プログラムについて

日本赤十字社では、学校の授業時間に合わせて行う救命手当短時間プログラムを提供しています。別添「案内パンフレット」の「学校で役立つ赤十字救急法 児童・生徒のための救命手当短時間プログラム」をご覧ください。

(4)提供できる学習テーマ一覧

テーマ	提供できる資材	提供できる講座(講師派遣)
ボランティア	ボランティアに関する冊子	「気づき・考え・実行する」子どもになるための理論と実践方法
防災教育	青少年赤十字防災教育プログラム教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」、防災すごろく、防災かるたの貸し出し	防災出前授業(グループワーク、災害救護体験談等)、非常食づくり体験
国際人道法	冊子「誰もが人間らしく生きるために」	国際人道法について
車いす	車いすの貸し出し	車いすについての学習と体験実習
高齢者の疑似体験	高齢者疑似体験セットの貸し出し	高齢者についての学習と体験実習
地雷	地雷模型セットの貸し出し	地雷および地雷被害者について
一元玉募金	一元玉募金に関するプリント	一元玉募金のゆくえについて
世界で生きるこどもたち	冊子「世界で生きるこどもたち」ネパールの水瓶の貸し出し	世界の問題について、わたしたちにできることとは

赤十字・青少年赤十字	貸し出し用DVD・資材 (青少年赤十字指導者手引き P82～P85 参照)	日本赤十字社について、事業紹介、青少年赤十字について
その他	献血、国際活動に関すること、その他については、支部担当までお問い合わせください。学級活動等において、すぐにご活用いただける指導資料をCD版として用意しております。(各加盟校に別送しております)	

○ 赤十字職員の派遣について

日赤埼玉県支部から指導者として職員の派遣をご希望される場合は、以下の様式により依頼してください。派遣費用は無料です。別途、教材費が発生します。(例 人工呼吸用マスク 1個 157円)

(事前にお電話により日程の調整をお願いいたします。)

(様式)	<p style="text-align: right;">○ ○ ○ 第 ○ 号 令和○○年○○月○○日</p> <p>日本赤十字社埼玉県支部事務局長 あて</p> <p style="text-align: right;">○○学校長 印</p> <p style="text-align: center;">青少年赤十字(登録式・校内研修・行事等) にかかる職員の派遣について(依頼)</p> <p>標記について、下記のとおり開催したいので、講師を派遣して下さるようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 2 場 所 3 依頼内容 4 対象と人数 5 その他</p> <p style="text-align: right;">担 当 : _____ T E L : _____ F A X : _____</p>
------	--

4 研修機会の提供

日本赤十字社埼玉県支部では、令和5年度青少年赤十字関連事業を以下のとおり予定しています。各校の研究推進に有益と考えますので、積極的な参加をお願いします。

指導者の参加については、原則として当支部で交通費を負担いたします。

所属地区主催のリーダーシップ・トレーニング・センター、指導者協議会への参加もお願いします。

事業	期 日	参加対象
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター 指導者講習会（加須げんきプラザ・1泊2日を予定）	6月24日 ～6月25日	教員
小・中学生リーダーシップ・トレーニング・センター （加須げんきプラザ・2泊3日を予定）	7月29日 ～7月31日	小中学生・教員
高校生リーダーシップ・トレーニング・センター （長瀬げんきプラザ・2泊3日を予定）	8月7日 ～8月9日	高校生・教員
青少年赤十字指導者研修会	8月22日	教員

5 その他

(1) 募金活動の取り扱いについて

日本赤十字社の事業全般に活用させていただく活動資金及び以下の募金については、日本赤十字社埼玉県支部で受け付けております。

義 援 金	国内で発生した災害 に対して受付	受け付けた義援金は、義援金配分委員会（被災都道府県が主体となって構成され、赤十字は構成メンバーの一員）で立てられた配分計画に基づき、市区町村を通じて全額が被災された方々へ届けられます。
海外救援金	海外での自然災害や 紛争に対して募集	受け付けた救援金は、日本赤十字社をはじめ世界各国の赤十字・赤新月社が行う緊急国際支援や開発協力活動などの活動資金として使われます。
一円玉募金	青少年赤十字が行う 教育支援活動に協力	教育を受ける環境が整っていない国々の子どもたちのため、文房具や学校施設、教育の支援を行うものです。

○日本赤十字社埼玉県支部へ寄託いただく場合

日本赤十字社埼玉県支部では、協力金融機関(埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、ゆうちょ銀行)からの振込みの場合、専用振込用紙により手数料を免除いただいています。

専用振込用紙を希望される場合は、当支部担当者までお問い合わせください。

(2) 収集活動の取り扱いについて

日本赤十字社では、現在、物品(使用済み切手、書き損じ葉書等)の取り扱いは実施しておりません。該当する団体等へ直接お申し出ください。

(3) 国際活動への取り組みについて

世界的な赤十字のネットワークにより、以下の活動を提供いたします。

① 海外メンバーへ作品を送る

トピックアルバム	日本の紹介やどんな生活を送っているのかを海外のメンバーに伝え、海外メンバーからも伝えてもらえるよう、海外の赤十字社との間でトピックアルバム等親善作品を交換することができます。 ※アルバム用紙の用意がございます。用紙や作成方法については、県支部までお問い合わせください。
海外親善作品	家庭科、クラブ活動や学級で手芸品等を作製して海外メンバーへ送ります。(事前にご相談ください。)

○注意事項

- アルバム及び手芸品等の送付にあたり、相手先に返事(礼状等)を強要することはできません。国の情勢や習慣等で難しい場合もありますので予めご了承ください。
- 海外親善作品の内容等につきましては、ご相談に応じますので、事前に担当あてご連絡ください。
- 手芸品等を送る場合、海外までの輸送に耐えられる品物(材質、大きさ、重量)をご検討ください。

② 海外メンバーを招く

県支部、本社の行う海外メンバー招へい事業では、実際の日本の教育活動を知る機会として、皆さまの学校へ訪問いたします。

教育活動等への活用をご希望される場合は県支部までお申し出ください。

6 事務連絡手続きについて(流れ)

